

平成21年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	4. 3・4・16 太田・高岡線道路改良費				
項	3. 都市計画費	細事業名					
目	3. 街路事業費	担当課係	道路建設課 (執行課: 道路建設課)				

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業						(単位: 千円)
	(歳入)	(歳出)	財源内訳	国庫支出金					一般財源
要求額	42,900	95,600	要求	42,900					52,700
決定額			決定						

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)			施策				多彩なふれあい広がるまちづくり / 生活基盤が充実したまちづくり / 市内の南北を縦断する太田・高岡線の			
	【太田・高岡線の整備に関する業務】			施策体系コード		05-02-01-10-60		事業番号		171-1	
	石川から藤治台を区間とする都市計画道路3・4・16太田・高岡線及び3・4・20岩富・海隣寺線の整備を進める。			総事業費		657,870千円		事業期間		平成18年度～平成22年度	
				年度別事業費		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	

(事業実施に関する根拠法令)  
 都市計画法第59条  
 道路法・不動産登記法

<事業に関する説明>

(事業の説明)	(事業の目的)	(事業の効果)
<p>認可延長1,094mで、平成11年度より用地買収に着手し用地買収率は95%、328mの整備及び取り付け道路の176mの整備が完了している。</p> <p>平成21年度は、城地先本線部の用地取得済区間と石川地先県道部の道路改良を行う。</p>	<p>本道路の周辺地区は工業団地、住宅地、郊外型商業施設、市街化区域内低未利用地、既存住宅団地が混在しているため、交通導線が混乱し、主要道路である県道佐倉印西線等の交通渋滞をまねいている。</p> <p>当道路整備により、これらの課題対応、また周辺の生活道路への通過車両削減を図る。</p>	<p>県道佐倉印西線をはじめとする周辺道路の交通渋滞の緩和、周辺団地からJR総武本線佐倉駅、物井駅への通勤通学アクセス向上等の効果が見込まれる。</p>
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)
<p>本路線は、JR総武本線物井駅と国道296号バイパスを結ぶ幹線道路であるが、国県道との道路ネットワークを考えた場合、藤治台団地までの整備ではなく、国道296号バイパスまでの整備計画を早急に検討しなければならない。</p> <p>一方、整備用地における地権者の協力が得られない箇所があり、事業の進捗に影響が出ている。</p>	<p>取得未整備箇所を適正に管理し、草刈委託箇所の範囲・回数等を再検討した。</p>	<p>効率的な施工工法を検討し、最小の経費で最大の効果が得られるよう努める。</p>